

社会貢献に向けた原子力発電所の活用策と目指すべき姿
—古くて新しい保全の課題解決に向けて—
プログラム

開会挨拶 (9:50-10:00)	堂崎 浩二 実行委員長 (東北大学)
I. 原子力発電所の稼働率向上に向けて (10:00-11:45)	
10:00 (1) 稼働率向上に向けた保全活動の実現に向けて	岡本 孝司 氏 (東京大学)
10:35 (2) 稼働率向上に向けたこれまでの歩みと今後の取組みへの期待	平岡 英治 氏 (東北大学)
11:10 (3) これまで稼働率向上が進まなかった原因の分析と改善提案	青木 孝行 氏 (東北大学)
昼食 (12:00~13:20)	
II. 原子力発電所の稼働率向上のこれまでの取組みと今後 (13:20-15:40)	
13:20 (4) 稼働率向上に向けた海外の事例	澁谷 武真 氏 (日本エヌ・ユー・エス)
13:55 (5) 長期運転サイクルの導入に向けて	横村 忠幸 氏 (日本原燃)
14:30 (6) リスク情報を活用した運転中保全(OLM)の適用範囲の拡大について	富田 邦裕 氏 (原子力エネルギー協議会)
15:05 (7) 保全最適化への取組みと組織の近代化	尾崎 友彦 氏 (中部電力)
休憩 (15:40~15:50)	
III. 再稼働の経験から得られた知見・教訓 (15:50~17:00)	
15:50 (8) 再稼働にあたっての問題点とその対応策	上村 佳広 氏 (九州電力)
16:25 (9) 高浜 1、2号機の再稼働に向けた取組み	志和屋 裕士 氏 (関西電力)
IV. まとめ (17:00-17:10)	堂崎 浩二 氏 (東北大学)
閉会の辞 (17:10-17:15)	青木 孝行 実行副委員長 (東北大学)

※ 各講演の概要は、日本保全学会HPをご参照ください。

※ 上記情報は2023年12月現在のものです。最新情報は、日本保全学会HPにてご確認ください。